





学校での防災訓練

(ポイント)学校で発災した場合、「生徒・学生をいかに安全に避難させるか」について実践いただく場として「大阪880万人訓練」の機会を活用いただければいかがでしょうか！

以下、実際にある小学校で大阪880万人訓練当日に実施した訓練の一例です。

防災訓練計画(概要)

【事前準備】訓練放送実施の前に避難経路の確認、非常口が開錠できるかを予め、確認しておく。

| 場 所 | 各教室・校庭 | |
|------|---|---|
| 訓練内容 | 1. 身を守る行動 … 発災直後 緊急速報メールの受信 → 身の安全の確保 地震発生の校内放送に合わせて全員で素早く机の下に隠れて頭を守る。 |  |
| | 2. いざ避難！ 地震の揺れがおさまれば、高学年があらかじめペアに指定されている低学年を迎えに行き、手を繋いで避難所まで一緒に避難する。※1 |  |
| | 3. 津波への対応…大津波警報発表 学校が津波浸水区域内にある場合は、浸水区域外にある避難所まで水平避難を行い、水平避難が難しい場合は津波避難ビル又は堅固な建物の3階以上に避難する。※2 |  |
| | 4. 防災教育 <ul style="list-style-type: none">避難するときの心構え「お・は・し・も」の標語をみんなで声を出して確認を行った。南海トラフ巨大地震の想定被害映像や過去に発生した地震に関する映像を視聴する。災害派遣従事者の講話を聴き、平時からできる自分なりの備えや行動について考え、実践する。 |  |

※1 近隣の中学校や高齢者等と協力して避難所まで一緒に避難する(共助)

※2 令和6年1月にリリースされた大阪防災アプリでは、津波避難ビルの場所や津波浸水区域を簡単に調べることができます。

【登録はこちら】

大阪府 / 大阪防災アプリの提供を開始します (osaka.lg.jp)

